

## 美しい多摩川フォーラム・第3回運営委員会議事録

日 時 : 平成28年3月16日(水)16:00~17:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)2階ソアーベ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授  
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授  
副会長 平岡 治房 青梅信用金庫 理事長  
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授  
委 員 蛭間 浩之 東京都西多摩建設事務所 管理課長  
石橋 克己 大田区都市基盤整備部都市基盤 管理課臨海部基盤担当係長  
輪千 徳也 青梅市 建設部 計画調整担当 主査  
岸田 学 日の出町 産業観光課 係長  
大東 一裕 東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部環境課長  
小澤 順一郎 小澤酒造(株) 取締役社長  
木村 康雄 東京都森林組合代表理事組合長  
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館館長  
栗原 秀二 (一社)大多摩観光連盟専務理事  
加藤 太 (株)JTBコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長  
前田 裕彰 近畿日本ツーリスト(株)首都圏西団体旅行支店支店長  
浅見 芳雄 (特非)緑の大地会 理事長  
吉川 和博 明星大学 地域交流センター  
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会 総務部長  
森田 昇 青梅信用金庫会長  
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー  
アドバイザー 石井 恒利 (公財)東京市町村自治調査会 参与  
澤田 實 東京シティガイド  
奥山 文弥 東京海洋大学客員教授

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (第1号議案)平成27年度事業決算見直し(案)  
(第2号議案)平成28年度事業計画・同予算(案)  
(第3号議案)平成28年度総会の開催日程等について(案)  
(資料 1)東北酒蔵街道に係る「酒蔵アイデアソン」開催(2/4)  
(資料 2)公益財団法人とうきゅう環境財団「2015年度・多摩川およびその流域  
の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)」進捗報告について  
(資料 3)東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業(多摩川カヌー駅伝等)実施  
(3/5~3/6)  
(資料 4)第8回・多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」完成(3/8)  
(資料 5)第6回・桜ウォーキングと桜守学校開催(3/30)  
(資料 6)多摩川夢の桜街道~桜の札所巡り事業  
第7回“美しき桜心の物語”の語り会(4/6:大田区・密蔵院大慈閣)  
(資料 7)多摩川夢の桜街道~桜の札所巡り事業

羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防(4/8)および高尾・多摩森林科学園(4/13)  
(資料 8)東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)  
第5回“美しき桜心の物語”の語り会(秋田県・角館)  
(資料 9)多摩川フォーラム設立10周年記念事業(平成29年度)の検討について

## 1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成27年度第3回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて56名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。始めに「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は歌詞朗読バージョンでお聞き下さい……。次に、本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(明星大学 地域交流センター 課長 吉川 和博 様)

こんにちは。藤村の代理で出席いたしました、吉川と申します。多摩に根付く大学を目標に、昨年4月に地域交流センターを発足しました。窓口という形で色々なお手伝いができるのではないかと思いますので、ぜひご連絡をいただき、私たちも一緒に多摩川で活躍させていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

## 2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さんこんにちは。平成27年度第3回目の運営委員会です。今日は変則的な時間ですので、定時刻に終われるよう、皆様のご協力をお願いいたします。それでは、事務局から経過報告をお願いいたします。

## 3. 経過報告

(事務局)

経過報告に入ります。前回1月の運営委員会以降に実施された活動につきまして、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。

(3)公益財団法人とうきゅう環境財団「2015年度・多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)進捗報告について【資料2】

- ・ 始めに【資料2】をご覧ください。今年度の調査研究活動は、計画どおり順調に進捗しています。本日は成果物として、3月1日に完成した「多摩の物語」の冊子をお

配りましたので、後ほどゆっくりとご覧くださいませ。なお、本件につきましては、平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

多摩川流域で出会った色々な人や食べ物、民話等を、歩いた人の目線でまとめてひとつの物語にしていく「多摩の物語」で、上流域バージョンはすでに完成していますが、中・下流域についてもようやくまとまりました。改めてとうきゅう環境財団の皆さんにお礼を申し上げます。この物語を皆さんに伝える場として、昨年12月に「御岳・冬物語」と題してお客様の前で発表しました。御嶽神社の宿坊で行いました。会場の広さの関係上、もともと10数組の定員だったのですが、イベント前日に大雨が降ったため、若干のキャンセルも出てしまいました。我々がイベント当日の朝に会場に向かった時も大雨でしたが、お客様が来られる時間帯には雨も上がって快晴になりました。小人数ではありましたが、お客様は「面白かった」「地域にこんなに色々な話があるなんて知らなかった」とおっしゃっていました。中には、息子さんに連れられて、杖をついて歩くお母様もいらっしゃったのですが、「息子に騙されたと思ったが、来て良かった」と言ってくださり、とても嬉しかったです。語り会終了後、お食事会が設けられ、私と数名の語り部がお客さまにご挨拶に伺い、お客様との交流の時間を設けることができました。お客様から直接感想を聞くことができました。今後も、イベントがあった時、集まった方々と出演者が何らかの形で交流できる場が少し設けられれば良いのではないかと思います。一人で参加しても、「あのイベントに参加すれば誰かとお話できて楽しい時間を過ごせる」と思ってリピーターになるかたもいらっしゃるのではないかと思います。これと同じような内容を、東京都主催の「多摩川カヌー駅伝大会」2日目に、あきる野の龍珠院で開催しました。JTBさんが集められた、60名のバスツアーのお客様がご到着される時間に合わせ、1時間にわたって「多摩の物語」を発表しました。終了後、お客様はすぐにバスに乗って次のスポットに向かってしまい、直接感想を聞くことはできなかったのですが、先ほどアンケートの集計結果を伺ったところ、旅行自体は良かったと捉えているお客様が多かったとのことなので、「多摩の物語」も良かったのではないかと安心しているところです。大変地味な取り組みではありますが、地域に伝わるあまり有名ではない物語は、かえって秘密めいた神秘性があり、昔からその地域に伝えられてきた意味がわかると、よりいっそう旅心が盛り上がるのではないかと思います。

(4) 東京都・地域資源発掘型実証プログラム事業(多摩川カヌー駅伝等)実施(3/5～3/6)

【資料3】

- ・ 東京都主催の「多摩川カヌー駅伝大会2016」を開催しました。普段なら、終了したイベントをビデオでご報告するのですが、関係者も多く、まだ映像にまとめることができおりません。従って、今日は速報として3ページの資料にまとめました。開催

が3月初めということで、「まだ寒いのではないか」「雪や雨が降ったらどうしよう」と心配しておりましたが、幸い、まずまずの天候に恵まれ、駅伝大会を無事開催することができました。これに関しては、多摩川沿線の青梅市、羽村市、福生市、昭島市、あきる野市、八王子市の6市が協働し、開会式には、そのうち、青梅市、羽村市、福生市、あきる野市の市長さんにご来賓いただき、メッセージをいただきました。また、河川管理者の国土交通省京浜河川事務所長の藤井さんもいらっしやり、ご挨拶をいただき、冒頭から盛り上がりました。また、当フォーラム副会長のダニエル・カールさんも、午後に栃木で講演が入っていたのですが、合間を縫って、応援にお越しいただきました。このカヌー駅伝は、4つの堰をまたいだ17kmのコースになっており、1チーム4人が、カヌーをバトンにして競いました。第一走者として、青梅市長さんが参加されました。聞くところによると、若い頃にはオリンピック候補選手だったそうです。資料の写真にあるように、福生の多摩川堤防では、モニターバスツアーの皆さんが、目の前でデッドヒートを繰り広げる選手を応援する場面もありました。隣の写真は、日野用水堰でカヌーを片手に抱えて走る選手が写っています。最終結果ですが、優勝は「青梅レジェンド」で、なんと青梅市長のチームが優勝しました。ちなみにこのチーム第四走者の竹下百合子さんは、北京オリンピック4位の実力の持ち主です。最後に、昭島市長さんに閉会のご挨拶をいただき、駅伝大会は無事終了しました。なお、この事業は、先ほど平野副会長からお話がありました通り、モニターバスツアーも同時開催しており、1日目はカヌー駅伝観戦、2日目は「多摩の物語」を鑑賞していただきました。その後、小澤酒造さんで酒蔵見学とお食事を召し上がっていただき、「多摩川酒蔵街道」も楽しんでいただきました。八王子市長さんだけは、どうしても都合がつかず、お越しいただけませんでした。バスツアーの最終スポットとして、八王子市の道の駅に立ち寄り、お土産を買って帰っていただきました。このような流れで、2日間の事業は終了しました。各市長さんからは、今後も継続してほしいというお話をいただいておりますし、国交省さんからも前向きな発言をいただいておりますので、ぜひ続けていきたいと考えております。後ほど議論させていただきますが、フォーラム10周年記念事業のひとつとして、多摩川カヌー駅伝大会ができれば良いと考えています。そうは言っても、それなりのお金がかかりますので、この件については、東京都自治調査会の永尾様にサジェスチョンいただき、東京都市町会で広域連携の事業があるので、代表市と連携して資料を提出し、採択されれば、3年くらいはできるのかなと思います。3年の実績を積み、多摩川一気通貫で河口までできれば良いと思っております。資料の最後に新聞を2枚付けました。観光経済新聞でも大きく取り上げられました。

(5) 第8回・多摩川子ども環境シンポジウム「みんなの発表誌」完成(3/8)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。昨年12月5日に開催した「多摩川子ども環境シンポジウ

ム」の報告書が完成しました。後ほどゆっくりとご覧くださいませ。なお、本件につきましては、山崎教育文化副部長に一言お願いします。

(山崎教育文化副部長)

第8回目も無事終了しました。多摩川上流から下流まで、色々なお子さんが集まって、大人では考え付かないような色々な視点で多摩川を観察し、大事にしていこうという、非常に有意義なシンポジウムでした。この冊子はホームページでも閲覧できるそうなので、皆さんのお知り合いのお子さんにぜひ声を掛けていただきたいと思います。

(8) 第6回・桜ウォーキングと桜守学校開催(3/30)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。3月1日に、後援の小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集案内したところ、数日でキャンセル待ちが出るほどの人気イベントになりました。これが平成27年度最後の事業になります。

(9) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/6: 第7回“美しき桜心の物語”の語り会(大田区・密蔵院大慈閣、語り部・平野啓子副会長)【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。今春は、大田区・密蔵院で開催します。3月1日に、広報の大田区報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集案内したところ、早々と満員になりました。本件につきまして、平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

沢山の方が集まっていると聞いて、ホッとしました。今年も、桜と川との結びつき、人の心との結びつきを、物語を通して、また、エピソードとして伝えたいと思います。物語は、瀬戸内寂聴先生の大人の恋の物語「しだれ桜」です。作家先生によっては、ボランティア活動には作品を使わせないという方もいらっしゃるのですが、瀬戸内先生には「どうぞ使ってください」とおっしゃっていただいています。会場の桜が、イベント当日に合わせ上手く咲いてくれるように祈っております。

(10) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

①4/29: 第5回“美しき桜心の物語”の語り会(七十番・角館武家屋敷:語り部・平野啓子副会長)【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。第5回目となる今春は、秋田県の角館武家屋敷において開催されます。本件につきましても、平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

もともと東北震災直後、多摩川フォーラムとして何かやっという、細野会長と森田前理事長の強いお声掛けのもと始まっています。多摩川フォーラムの“美しき桜心の物語”の語り会スキームをそのまま持って行っているの、内容自体は先ほどほとんど変わりません。しかし以前は、東北復興のために、こちら側が一方的に気持ちを傾ける面が強かったのですが、震災後5年が経ち、今年は、どうやったら楽しんでもらえるかなということをしていきたいと考えています。テレビでも、タレントの方が、「今までは応援するつもりでやってきたが、これからは皆でイベントを楽しみたい」というように変わってきました。それより数年前、東京都内で、映画とセットにしたシンポジウムを協議会が開催しました。その時点で、「これからは、ただ応援するのではなく、応援する側もされる側も楽しめるものにしていけたら良いのではないか」という事を既に言っておりました。報道より2年も早くです。なぜ私たちがその時それを言うことができたのか。それは、地域に密着した信用金庫さんとの結びつきでやっているからではないかと思います。今後も、東北の応援には、信用金庫さんの存在が重要だと思います。今までの力をさらに太くしていくような方向に、応援していただきたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしくお願ひします。

(細野会長)

平野副会長からお話がありました通り、「東北・夢の桜街道」は5年目を迎えますので、我々の支援は次の段階を迎えるのかなと思います。インバウンドにも積極的に働き掛ける段階に来ています。今月末、宮坂さんと一緒に、観光庁を訪問し、一層の支援をお願いする予定です。事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。それでは第1号議案の「平成27年度事業決算見直し(案)」ですが、事務局の方からご説明をお願いします。

#### 4. 協議

##### (1) 第1号議案:平成27年度事業決算見直し(案)

(事務局)

第1号議案:平成27年度事業決算見直し(案)をご覧ください。平成27年度はほぼ、計画どおり順調に推移しております。まず、収入の部、寄付金Ⅱの200,000円ですが、これは寄付金Ⅰの青梅信用金庫様からの寄付金8,000,000円とは別に、昨年4月～5月に「多摩川夢の桜街道応援定期預金」を販売したことに伴う寄付金になります。寄付金Ⅳの432,516円ですが、これは、東急百貨店様が昨年6月に実施したココエコチャリティイベントによる寄付金になります。寄付金Ⅴの202,546円ですが、これは、たまり

バー50キロ命名記念・RUN&WALKを通じて寄せられた大田区民有志の皆さんからの寄付金になります。

一方、支出の部ですが、PC購入は平成27年度の第2回運営委員会で新たに承認されたものです。次に、桜の植樹募金については、平成27年度の第1回運営委員会で承認されたものです。その結果、次期繰越金見込額は、2,019,166円(うち1,188,025円は、毎年、大田区民有志の皆さんから寄せられた桜の植樹募金の積立金残高)となります。以上で第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第2号議案の第2号議案の「平成28年度事業計画・同予算(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(2) 第2号議案:平成28年度事業計画・同予算(案)

(事務局)

はい、第2号議案:平成28年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、会費収入は2,100,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、東急百貨店様より300,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しております。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,470,000円、各種活動費として6,790,000円を計上しております。なお、東北・夢の桜街道運動として、例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金見込額は1,409,166円となり、合計では、12,669,166円となります。

次ページは、平成28年度事業計画(案)の主な実施内容になります。その次のページは、平成28年度事業計画(案)の趣旨説明になります。平成28年度は既存事業の継続実施が基本となっております。次ページの美しい多摩川フォーラム・平成27年度活動報告と今後の予定をご覧ください。今年度も、年度末には年間を通じて、50を超える事業活動を実施することになります。後ほど、じっくりご覧ください。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。有り難うございました。次に、第3号議案の「平成28年度総会の開催日程等について(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(3) 第3号議案:平成28年度総会の開催日程等について(案)

(事務局)

第3号議案:平成28年度総会の開催日程等について(案)をご覧ください。開催日時は5月28日(土)9時半～11時半を予定しております。開催場所は、例年通りフォレストイン昭和館となります。簡単ですが、説明は以上です。

(細野会長)

それでは皆さん、ぜひご出席をお願いします。特に質問等がないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか…(拍手)。有り難うございました。以上で、3つの議案が全て承認されましたので、協議事項を終わります。なお、第1号議案から第2号議案までは、総会付議事項ですので、念のため申し添えます。では、事務局より、意見交換をお願いします。

## 5. 意見交換

(1) 当フォーラム設立10周年記念事業(平成29年度)の検討について【資料9】

(事務局)

【資料9】をご覧ください。4枚目は、「多摩川フォーラム設立10周年記念事業に関するご意見の要約」となっています。昨秋から、各部会や運営委員会で、皆様からいただいたご意見をまとめさせていただきました。多数のご意見、誠に有り難うございました。その中から、事務局のほうで意見を整理させていただいたものが、資料1枚目～3枚目になります。2～3枚目は、記念事業としては見送った事業になります。「経済」「環境」「教育文化」「総合」軸のカテゴリに分け、見送った理由を明記しております。一方、記念事業として採択したい候補が、1枚目にカテゴリ毎に分けて掲載しております。新しい事業をやるということは、当然既存の事業を見直す必要があり、それについても記載しました。1枚目と4枚目以降については、事前に皆様にメールでお送りさせていただいておりますので、既にお目通しいただいたという前提で、【資料9】全般に対するご意見やご質問をいただきたいと存じます。あるいは、本日は27年度最後の運営委員会ですので、「やっぱりこういう事業を行いたい」というご提案があれば、お願いいたします。また、採択したい事業のいくつかについては、概算見積りを取りました。それなりの額がかかります。例えば、フォーラム会員企業の皆様にご協力をお願いすることについて、併せてご意見もいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(細野会長)

事業というのは、それなりにお金がかかります。いざとなれば、私も頭を下げに行きますので、それも含めたご意見やアイデアをいただきたいと思っております。端から時計回りをお願いします。



(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 臨海部 基盤担当係長 石橋 克己 様)

記念事業はお金がかかりますが、行政レベルで費用を出すことは難しく、申し訳ございません。今回、大がかりなイベントであるカヌー駅伝を開催していますが、大田区でも多摩川でボートを楽しむ会や大田区カヌー協会がごございますし、大田観光協会でも色々とイベントを開催していますので、そういった団体と連携をして、イベントのご協力をさせていただければと思います。

(青梅市 建設部 計画調整担当 主査 輪千 徳也 様)

青梅市では基本的に、多摩川フォーラムさんに可能な限りご協力させていただいております。また、3月5日に開催されたカヌー駅伝につきましても、青梅市長が実際に参加しましたし、「イベントとして良いのではないかと」言っておりますので、10周年として開催するかどうかは分かりませんが、今後開催するようであれば、ご協力させていただきたいと思います。費用面や連携がどれだけ取れるかはわかりませんが、カヌー駅伝は記念事業として良いのではないかと思います。

(日の出町 産業観光課 係長 岸田 学 様)

私も、多摩川カヌー駅伝大会については、非常に魅力的だと思います。しかし、行政レベルでの出資は難しいので、何らかの形で協力はしていきたいと思っています。10周年記念事業が成功することを期待しています。

(ガサガサ水辺の移動水族館館長 山崎 充哲 様)

「みんなの発表誌」の発行中止については、寝耳に水です。この発表誌で受験に臨む子どもたちも沢山いますので、本当は続けてほしいと思いますが、大人の事情もあると思いますので、今後練っていかねばならないのかなと思います。

「子ども環境シンポジウム」は8年やってきましたが、今度は、団体・企業向けの「大人のシンポジウム」をやりたいと思っています。パネル展示やパネルディスカッションを行い、「うちはこれだけ多摩川に貢献しているんだ」というPRができればと思います。フォーラムの会員同士が交流し合える場があれば良いと思います。打ち上げ花火(一度きりのイベント)も面白いと思いますが、10年目に行う記念事業で、持続可能なものが良いと思います。

(東京急行電鉄㈱ CSR推進室 CSR推進部 環境課長 大東 一裕 様)

私はフォーラムの会議に参加するのが3回目ですが、具体的なイベントにまだ参加したことがないので、具体的なイメージが湧かないのですが、私どもの会社の営業範囲は二子玉川から下流になるので、30年続いた二子玉川の事業も終わり、今後は沿線の方々と協働した多摩川の整備や自然を活かしていくよう検討していますので、そういった

ところでご協力できるかなと思います。フォーラムの活動の中で、二子玉川沿線で何かイベントを行う際には、社内に広報するなどのご協力もできるのではないかと思います。

(近畿日本ツーリスト(株) 首都圏西団体旅行支店 支店長 前田 裕彰 様)

私もフォーラムに参加して3回目なので、大したことは申せませんが、大きなイベントというよりは、先ほど話のあった「大人のシンポジウム」が良いと思います。私もフォーラムの会員の方をまだ良く知りませんし、社内に帰って多摩川フォーラムの活動のことを話しても、知っているのは信用金庫さんを担当している社員のみです。我々も社内に周知する必要がありますし、私たちの活動も外部に知っていただく必要があると思いますので、人の輪を重視した事業が良いと思います。私は、前任のさいたま市で、自治体と協力した地域活性化のイベントを多く手がけてきましたが、コストが多くかかり、自治体さんの負担もかなり大きかったです。それを考えると、人の輪を重視する場を作れば良いのかなと思いますし、姉妹団体である最上川フォーラムさんと絡めた集まりが良いのではないかと思います。

(東京都森林組合代表理事組合長 木村 康雄 様)

10周年で形に残るものを残した方が良いのではないかと思いますし、一方でイベントのことも考えなければならないと思います。あるいは、20～30年先を見据え、政策的な部分も含めて考える必要があると思います。3本柱を軸に考えていくとなると、ひとつは10年の足跡を記録として残すこと、また、先々のことを考えると、寄付金を集めやすいような体制作り(NPO化、公益法人化)も必要ではないかと常々思っています。イベントに関しては、植樹や間伐など、山に関するものであればご協力させていただきたいと思っています。

((特非)緑の大地会 理事長 浅見 芳雄 様)

桜の植樹の労働力や苗木であればご協力できますので、よろしく願いいたします。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

今までは、事務局が実働兼ねて全てやっているとありますが、そろそろ実働部隊を作られたらどうでしょうか。そうしないと、色々な事業をやろうにもマンパワー不足です。また、多摩川の源流(笠取山)に行ったことがない人が多いと思いますので、一度行ってみたら良いのではないのでしょうか。4年前、大田区の議員さんたちを連れて行ったこともあります。さらに、先ほど山崎さんがおっしゃっていたように、多摩川フォーラムの会員さんたちが何をやっているか良く分からないので、何をやっているのか広報をしたらどうでしょうか。中小企業庁が、全国から100人のメンバーを集めて実働をしています。行政は机上理論が多いのですが、とにかく100日間現場へ行って来いということで、物の

制作から販売まで行い、企画案を出させて終業となります。秩父では、民間が観光協会を立ち上げました。普通、観光協会は行政が絡むのですが、ここは純粋な民間で運営しています。私は秩父に月2回ほど行っていますが、非常に元気があります。それは、自分たちの金を使っているからです。それを考えると、ぜひ実働部隊を作ってもらいたいと思います。

(東京海洋大学客員教授 奥山 文弥 様)

まず皆さんに共通認識を持っていただかないといけないのですが、「何のために10周年記念事業をやるのか」という目的です。私が今考えたのは、私が美しい多摩川フォーラムのアドバイザーになった理由でもあるのですが、「多摩川は凄い川なのだ」ということを、日本全国、世界に発信し、我々が多摩川のためにどういう活動をしているのかをアピールするのが一番良いのではないかと思います。私は釣りをするので、いつか多摩川の釣りで凄いイベントができれば良いと思っていました。ただ、この10年間で、多摩川の外側の意見は色々出ているけれども、中の水そのものの話は出ていないです。これだけアユが沢山いる多摩川で、釣り大会を行い、経費は釣り業界に提案します。「多摩川1万人釣り大会」をやると告知すれば、釣り業界は色々な媒体を持っているので、テレビや新聞でPRしてくれます。かつて2000万人いた釣り愛好者も、「川は危ないから遊びに行っちゃいけない」という教育のせいで、680万人に減ったと言われています。言い換えれば、1400万人の人は釣りをやめてしまったこととなります。実は多摩川は釣りのギネス記録を持っています。ニゴイ、マルタ、ウグイ、大きいフナの世界記録が多摩川から出ています。そういったこともアピールしながら、多摩川は凄いのだということを、釣りによって世界に発信すれば、多摩川をもっと身近に感じてくれるのではないのでしょうか。

(明星大学 地域交流センター 吉川 和博 様)

初めて参加しますが、事前に資料を読ませていただきました。見送った事業の中に面白そうなものもあるので、残念だと思いました。大学には学生が沢山いますので、何か協力できないかを考えると、シンボルマークやキャラクター等のデザインを、コンテスト形式で開催すれば、学生を含めて色々な方が多摩川を見つめ直すチャンスになるのではないかと思います。また、イベントを行うのにマンパワーの面で事務局が大変だとおっしゃっていましたが、学生ボランティアとしてお手伝いできるのではないかと思います。

(株)JTBCコーポレートセールス法人営業西東京支店 営業第二課長 加藤 太 様)

どうやったら多摩川流域の住民を含めた多くの方々に、多摩川に注目してもらえるのかを考えると、やはり注目されるようなイベントを開催することが良いと思います。ただし、お金がかかる話なので、持続可能な仕組み作りをすべきだと思います。「10周年を機に、多摩川フォーラムが行うイベント」が必要だと思います。カヌー駆伝もひとつの手だと思

いますが、何らかの形でイベントを開催することで、多摩川フォーラムに興味を持って会員になってくれる方も出てくると思います。

(一社)大多摩観光連盟 専務理事 栗原 秀二 様)

記念誌については、当然作成すべきだろうと思います。また、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所の選定先等見直し」については、当初、携帯マップ制作のお手伝いをさせていただきましたので、その後、「多摩川酒蔵街道」ができたことも踏まえ、それらを合体させたマップについてもお手伝いできるのではないかと考えています。

このフォーラムの活動が、なかなか周知されていないのではないかと考えています。先日のカヌー駅伝でも、ギャラリーが少なかったので、フォーラムの活動を5大紙に一面で掲載して全国発信したら良いのではないかと考えています。私も観光という分野で仕事をしておりますし、当連盟には観光ガイドが30名ほどおりますので、今後も何らかの形でお手伝いできればと思います。

(小澤酒造(株) 取締役社長 小澤 順一郎 様)

10周年記念で何かやるということになれば、新聞等で取り上げてもらえると思うので、何らかのイベントを開催するのが良いと思います。また、10周年記念誌の発行は必須だと思います。また、シンボルマークの選定も、10周年を機に制定するのもチャンスではないかと思います。カヌー駅伝については、恐らく継続事業になると思うので、10周年記念のイベントは別のもの、たとえば桜の記念植樹などが良いのではないかと考えています。

(青梅信用金庫 会長 森田 昇 様)

私は、多摩川フォーラム副会長から、フォーラム事務局の専務理事になりましたので、この10周年記念事業につきましても、事前に事務局内で打合せを行っております。お手元の【資料9】ですが、これまで沢山の意見をいただきましたが、とても全てはできないので、「経済」「環境」「教育文化」の軸に分けて候補事業を事務局側で絞らせていただきました。カヌー駅伝もそうですし、「多摩川夢の桜街道」については、自治体も『もつとここをPRしたかった』という声もありますので、ぜひ見直しをしたいと思いますし、記念シンポジウム、語り会、記念誌発行、植樹式等は、周年事業として外せないと思っております。また、シンボルマーク制定やドローンを活用した多摩川の空撮についても、今後有効活用できます。山崎さんから「なんで『みんなの発表誌』の発行をやめるんだ」という意見がございましたように、今日、皆さんからいただいた意見をもとに、事務局で再度内容を詰め直し、最終的には細野会長に決めていただくこととなります。予算も大切ですが、どうしてもやるべきことはやっておきたいと思っています。後でやっておけば良かったと後悔しないようにしたいと思っています。各事業については、運営委員の皆さんにご協力いただかないとできませんので、実施の際には、ご協力をお願いいたします。

(細野会長)

予算はだいたいどれくらいなのですか。

(事務局)

書いてある項目を全て実施するとなると、概算で800万円くらいかかります。

(細野会長)

分かりました。腹をくくってやらないとできないかもしれません。

( (公財) 東京市町村自治調査会 総務部長 永尾 昌文 様)

我々自治調査会がお手伝いできそうなのは、カヌー駅伝の広域連携という部分になります。先ほど、「行政では出資するのが難しい」というお話がありましたが、複数の自治体が連携して何か事業を実施する場合には、市町会という、我々の兄弟のような組織から補助が出るかもしれません。フォーラムの「ゆるくむすんで」というのは非常に良いキーワードです。ご存知の通り、日本全国的に人口が減少しています。そこで自治体は、人の取り合いをするのです。定住人口の奪い合いです。私が宮坂さんに賛同したのは、「ゆるくむすんで交流人口を増やす」ことです。ひとつのヒントですが、2020年に東京オリンピックがあります。多摩川フォーラムが価値を持って行っている環境・インバウンド・地域のスポーツ振興は、かなり親和性があると思います。東京都や市町村が応援するメニューに載る可能性があるのも、それらとコラボレーションしていただければ良いのではないかと思います。さらに、東京都のメニューの中でも地域の振興に資するとか、地域の産業を活性化させるというものがあるので、企業の社会貢献の場として、地域のPRの場として使えるイベントをやっていけば良いのかなと思います。カヌー駅伝であれば、中継地点で見る人をもっと楽しませることをやっていけば良いと思います。上流では上流の自治体のPRや、地元企業の社会貢献のPRなどを行い、それが下流に移っていった楽しいものが良いと思います。その他の事業についても、メリハリをつけて継続していったきたいと思います。

( (公財) 東京市町村自治調査会 参与 石井 恒利 様)

以前、多摩川の土木遺産の話をしていただきました。沢山の堰があり、せつかくアユが遡上してきているので、それが見える仕組みを作れば良いとお話しましたが、見送りの事業になってしまい、残念です。皆さんが一生懸命多摩川のことを考えているのに、肝心の河川管理者である京浜河川事務所が表に出てきていないのが一番気になります。河川工事事務所が何もしなければ、我々は何もできません。最近の国交省の考え方は、必ずしもハード面だけではなく、ソフト面での川の管理も大切にしている流れがありますので、地域の人に、より親しんでもらえる川づくりのために、もう少し京浜河川事

務所が加わっても良いのではないかという意味で、そのきっかけとして、お話をした次第です。また、10周年記念事業は、1年の間に完結しなければいけないのでしょうか。そこが疑問に思うところです。10周年を機に活動のスタートを切るのも記念事業ではないかと思えます。京浜河川事務所に迫って、「1年で作ってほしいとは言わないが、『作る』と宣言してほしい。」と、京浜河川事務所に宣言させる仕掛けを10周年記念事業で行ってほしいと思えます。多摩川に関しては、土木遺産が沢山あります。歴史の中で、人との関わりも深く、日野や登戸にも渡しがあります。多摩川と人との関わりを歴史的に振り返り、現代に繋ぐことができれば、活動そのものが記念事業になるのではないのでしょうか。

(細野会長)

河川法の改正は、何年前だったでしょうか。

( (公財) 東京市町村自治調査会 参与 石井 恒利 様)

だいぶ前です。多摩川は遅れています。荒川上流・下流の河川事務所は大変前向きにやっています。そういった意味では、京浜河川事務所は力の入れ方が少ないように感じます。

(東京都西多摩建設事務所 管理課長 蛭間 浩之 様)

ただいま、石井さんから河川管理者に対して厳しい意見をいただきましたが、多摩川万年橋(青梅市)より上流は、うちが管理しているので、河川管理者の立場で参加しております。河川行政は3つの柱があり、洪水を防ぐ治水、水質・環境改善、利水です。そういった中でカヌー駅伝大会は、良い事業であると思えます。うちは建設局という組織で、補助金等の予算はないので、経費的な協力はできないのですが、広報やPR、行政間の調整等に関してはお力になれるのではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。事務局では今日の意見をまとめ、リバイズをお願いし、次回また議論したいと思えます。その他、何かご意見はございますか。

(ガサガサ水辺の移動水族館館長 山崎 充哲 様)

1点だけ意見があります。実は魚道を作ると、多摩川のアユはどんどん減ります。アユの生態は、春に遡上し、秋に下って下流で卵を産みます。魚道をのぼれても、魚道を下れるアユがいません。多摩川では、アユを遡上させればさせるほど、アユが少なくなると言う状況になっています。ダムを開ければ落ちアユが下って行くのですが、最近はダムを減多に開けません。私もアユを使って何かやりたいと思うのですが、正しい知識のもとで動かないと、今後は厳しいのかなと思えます。東京都の水産課がアユの遡上数を発

表しています。4年前には1200万匹でしたが、毎年30%ずつ減り、去年は400万匹まで減りました。魚道が完成したと同時に減っています。小型化もしています。アユについては、まだ皆で見守っていく段階なのかなと思います。

## 6. 総括・閉会

(小倉副会長)

色々な意見が出ましたが、3点だけ申し上げます。1つめは、各軸にとらわれないような10周年記念シンポジウムが必要なのではないかと思います。今までの10年を振り返り、これからの10年を考えるシンポジウムが良いと思います。また、2つめとして、10周年記念誌もまとめたほうが良いと思います。3つめは、色々なイベントがありますが、イベント名に「10周年記念」という冠を付けて継続してイベントを行えば良いのではないかと思います。

(平岡副会長)

運営委員の皆様におかれましては、年度末でお忙しい中、ご出席いただき、誠に有り難うございました。また、10周年記念事業に対する貴重なご意見をいただき、有り難うございました。先ほどカヌー駅伝の話があり、「10周年をスタートに」という話もありましたので、そういう中、カヌー駅伝の写真をみると、本来なら駅伝ですから、上流から下流までカヌーから降りずに行ければ良いのかなと思いました。10周年は、「多摩川100年プラン」の残り90年の第一歩ということも、資料の後ろのほうに書かれていました。10分の1の通過点です。100周年の時には、間違いなく皆さんはいらっしやいませなので、後輩たちが、「10周年の時にこんな素敵なお事業をやったんだよ」と、思い出に残るようなことができれば良いのかなと思いました。今日はどうも有り難うございました。

(細野会長)

それでは、平成27年度第3回運営委員会をお開きにいたします。皆さま有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)